住宅防火のポイント！

当局管内で平成26年中に発生した火災種別のうち、「建物火災」が最も多く発生しています。そして、この内の約50％を占めているのが「住宅火災」です。

住宅火災を防ぐには、一人ひとりの心がけが必要です。

住宅防火を推進するため、次の対策を行いましょう！

◎住宅用火災警報器

住宅火災による死者の多くは「逃げ遅れ」によるものです。

中でも就寝中の火災による死者が多く発生しているため、寝室への設置が火災予防条例で義務付けられています。未設置のご家庭は速やかに設置してください。

また、すでに設置しているご家庭では、維持管理をしっかりと行ってください。

◎住宅用消火器

万が一、火災が発生した場合、消火器による初期消火が大変有効です。設置の義務はありませんが､いざというときのために､当消火器の設置をおすすめします。

◎防　　

防炎品とは、繊維などの性質を改良して、着火しにくく、また着火しても燃え広がりにくく加工した製品です。

使用の義務はありませんが、寝具やカーテン、車のボディカバーなどを防炎品にすることで、火災の発生や拡大を防止することにもつながります。

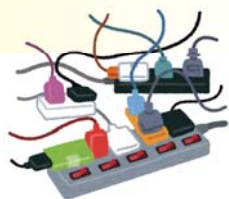
電気器具による火災を防止しましょう！

住宅火災のうち電気器具が原因による火災が多く発生しています。延長コードや電子レンジなど身近にある電気器具による火災は、不適切な環境で使用することや使用者の誤使用により発生します。取扱説明書をよく読むとともに、次の点に注意し、火災を未然に防ぎましょう！

◆電子レンジ・ＩＨコンロ

・決められた調理方法を守る

◆延長コード

・延長コードを損傷させない、束ねない、ねじれたまま使用しない
・許容量以上の電気器具をつなげない
・抜き差しは、差し込みプラグ本体を持つ
・未使用の差し込みプラグはコンセントから抜く

◆コンセント

・ほこりなどがたまらないように定期的に清掃する

発　行　所
堺市堺区大浜南町3丁2番5号
堺市高石市防災協会連合会
ＴＥＬ．２３８－０１１９
編　　集
堺市消防局
予防部予防査察課
http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bosai/shobo/

平成27年３月中の火災・救急概況

項目	件数
火災件数	20件（58件）
建物火災件数	18件（41件）
死者	6人（7人）
負傷者	6人（11人）
救急出場件数	4,350件（13,275件）

（　）内は累計

ポスターモデル　松岡　茉優